

## ・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	受取手形	150,000	売掛金	200,000
	当座預金	50,000		
2	前受金	150,000	売上	400,000
	売掛金	250,000		
3	租税公課	50,000	現金	150,000
	資本金	100,000		
4	旅費交通費	1,000	現金過不足	1,000
5	仕入	1,005,000	買掛金	1,000,000
			現金	5,000

## ・解説

1. 売掛金の回収に関する非常に簡単な問題です。

150,000 円については他店振り出しの約束手形を受け取っているため**受取手形の増加**として処理し、残額の 50,000 円 (=200,000 円 - 150,000 円) は**当座預金の増加**として処理します。

売掛金の回収に関する問題は、第 130 回の問 4 や 第 143 回の問 3 でも出題されているので、あわせてご確認ください。

2. 売上取引に関する問題です。

このような問題は【前受金に関する取引】【掛け売上に関する取引】の 2 つに分けて考えると、難易度がぐっと下がって分かりやすくなります。

## 【前受金に関する取引】

問題文に「代金のうち ¥ 150,000 はすでに受け取っていた手付金と相殺し」とあるので、売上に先立って手付金を受け取っていたことが分かります。なお、手付金受取時の仕訳と、当該手付金を充当する仕訳は以下のようになります。

## ☆参考・手付金受取時の仕訳

(借) 現金など 150,000 / (貸) 前受金 150,000

## ★解答①

(借) 前受金 150,000 / (貸) 売上 150,000

## 【掛け売上に関する取引】

これは簡単です。普通に掛け売上をした時の仕訳を切るだけです。

## ★解答②

(借) 売掛金 250,000 / (貸) 売上 250,000

以上、①②をまとめると解答仕訳になります。

本問はかなり簡単な部類の問題なので、必ず出来るようにしておいてください。

3. 資本の引き出し・租税公課に関する問題です。

営業用の自動車に係る自動車税を納付した場合は**租税公課**で費用処理し、事業主の所得税を会社が肩代わりして納付した場合は**資本の引き出し**として処理します。

なお、本問は問題で列挙されている勘定科目の中に資本金がある（引出金がない）ので、資本の引き出しに関する仕訳は**資本金で処理**します。

- ・営業用の自動車に係る自動車税（50,000円）：**租税公課**で費用処理
- ・事業主の所得税（100,000円）：**資本金の減少**として処理

資本の引き出しに関する問題は、第102回の間3や第106回の間4、第107回の間2、第114回の間2、第117回の間5、第122回の間1、第125回の間2、第126回の間5、第127回の間5、第129回の間5、第133回の間3、第135回の間4、第136回の間1、第139回の間4、第145回の間1、第147回の間2でも出題されているので、あわせてご確認ください。

租税公課に関する問題は第106回の間4や第107回の間2、第122回の間1、第125回の間2、第127回の間5、第129回の間5、第133回の間3、第135回の間4、第137回の間2、第139回の間4、第141回の間5、第146回の間3、第147回の間2、第150回の間5でも出題されているので、こちらもあわせてご確認ください。

4. 現金過不足に関する問題です。

問題文の「先日、週1回の現金実査を行い、現金過不足勘定の借方に ¥ 2,000 の記入を行っている」から、帳簿残高を実際有高に合わせるために以下の仕訳を切っていたことが分かります。

☆参考・現金のズレを調整したときの仕訳

(借) 現金過不足 2,000 / (貸) 現金 2,000

上記の仕訳を踏まえたうえで、問題文に「従業員が立て替えていた電車賃 ¥ 1,000 を現金で支払っていたが、未記帳である事が判明」とあるので、借方に計上していた現金過不足の一部を旅費交通費に振り替えましょう。

★解答仕訳

(借) 旅費交通費 1,000 / (貸) 現金過不足 1,000

現金過不足に関する問題は、第110回の間4や第115回の間1、第117回の間1、第123回の間2、第133回の間4、第135回の間1、第142回の間5、第147回の間1、第150回の間3でも出題されているので、あわせてご確認ください。

5. 仕入取引に関する問題です。

本問のポイントは仕入諸掛の処理の方法ですが、仕入諸掛は仕入を行ううえで不可避免的に発生する費用なので、**仕入原価に含めて処理**します。

なお、事務机は販売用として購入したものであるため、これに関する未払いについては**買掛金勘定を使って処理**しますが、もし仮に、社内で利用するために購入した場合には**買掛金勘定ではなく未払金勘定を使って処理**します。

☆参考・社内で利用するために事務机を購入した場合

(借) 備品	1,005,000	／	(貸) 未払金	1,000,000
			(貸) 現金	5,000